

白山市立蕪城小学校

校長だより

令和8年度 5月1日



No. 3

学校教育目標

自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成
～ みんなが元気 みんなで前進 ～

めざす児童像

「自ら関わり学ぶ子」

「やさしく思いやりのある子」

「力いっぱい活動する子」

よい音が聞こえる学校！

学校が児童にとって安心・安全な場所となるためには、温かく規律があり、活力ある風土の中で、切磋琢磨できること等が大切です。本校では、「認める・励ます・勇気づける・労う」指導と自ら考えより良く決める、自己決定の場の保障を心がけています。そうした学校ではいろいろな活動において、自然と「よい音が聞こえる」と思っています。

「よい音」とはその場にふさわしい音です。例えば、爽やかな挨拶の声、友達の考えを反応しながら聞く音、教師が児童の頑張りを認める言葉、元気な授業開始の挨拶の声、校歌や今月の歌等を斉唱する声、友達の頑張りを応援する声、書く活動の時に鉛筆の音だけが聞こえる真剣さが伝わる静けさ、掃除の時間に雑巾がけやズックの音しかしない静けさ、運動時の激しい息づかいの音等です。学校が児童にとって安心・安全な場所となり、一人一人がやるべきことを正しく判断して行動できるように指導していきます。



〔キュッキュッ 心地よい音〕



〔集中した朝活動〕



〔校歌の練習 1年生〕

みそあじへ

5月7日のぶじょっこ集会において、今後も大切にして続けてほしいこととして、「みそあじへ」を伝える予定です。「みそあじへ」とは、身だしなみ、掃除、挨拶、時間、返事のこと、これらの行動を揃えて、みんなが気持ちよく、元気に過ごし、頑張れるようにしていきたいと考えています。



自転車に乗る時は、ヘルメットの着用を！

自転車乗車時に交通事故に遭った場合、「ヘルメットを着用し、あごひもをしっかり締めていること」によって、頭部が自動車や路面等に強くぶつかっても、「後遺症が残ったり、命を落としたりせず、幸い軽症で済んだ」という事案がいくつもあるそうです。まずは、自転車に乗っていても、歩行者であっても、交通ルールを守り、「止まる、左右の安全を確認する」、車や相手が来るのではないかと危険なことを予想して、通行することが大切です。お子様と交通安全について、今一度話をするようお願いします。誰もが自分が事故に遭うとは思っていませんが、いつ事故に遭うかわかりません。特に、ヘルメットを必ず被る、あごひもをしめるようにお子様に再度ご指導願います。